

町民インタビュー No.2



～ 老若男女 木古内町民のインタビューを発信します ～



プロフィール

おかやま とおる
岡山 徹さん 53歳
 木古内町生まれ建川地区在住
 認定農業者・農業委員・
 新はこだて農協あか牛生産振興会会長

あか牛生産振興会会長として だだいま 奮闘中!!

建川で生まれ、木古内高校、札幌学院大学を卒業後、サラリーマン生活を経て30歳でUターンし就農した。

当初、繁殖牛の生産を営んでいたが、平成7年から肥育牛の生産を始め、現在では肥育牛を約90頭育成している。優秀な肉牛を出荷するために日々の努力や研究に余念がなく、今年度で15回目を迎えた「北海道あか牛枝肉共励会」では、念願の最優秀賞を受賞した。

平成22年に結婚され、2児のやさしいパパでもある。

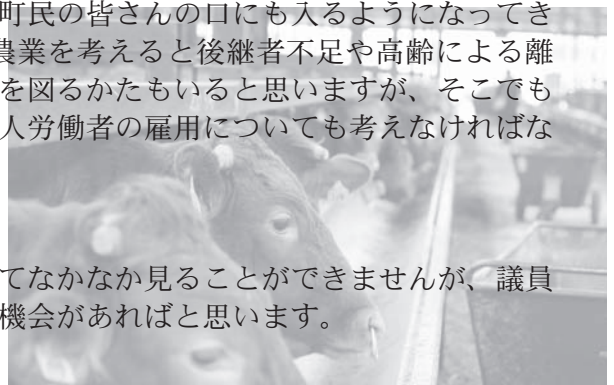
— これからの「はこだて和牛」の生産はどのようになりますか？

素牛不足から単価が上がっているの、コストダウンも含め飼料用米を混ぜて与えるなど、試行錯誤し研究を重ねています。また、町の応援もあり、町内商業者の利用（ふるさと納税返礼品を含む）も少しずつ増えており、町民の皆さんの口にも入るようになってきたのではないかと思います。将来の木古内の農業を考えると後継者不足や高齢による離農も予想されます。その農地を借りて規模拡大を図るかたもいると思いますが、そこでも人手不足が心配されます。今後、法人化や外国人労働者の雇用についても考えなければならぬと思います。

— 議会に期待することは？

議会の傍聴やインターネット中継は、忙しくてなかなか見ることができませんが、議員の皆さんに議会の内容などを、教えてもらえる機会があればと思います。

(インタビューア－：相澤委員)



編集後記

■みそぎの郷きこないのオープンに始まり、北海道新幹線、道南いさりび鉄道の開業や、釜谷ゆうなぎ館、新吉堀トンネルの完成等の年も明け、新年は、雪のない穏やかな年の始めとなりました。

■昨年の暮れには、新潟県糸魚川の大火など、各地で住宅火災によって亡くなるかたの報道がされています。これから寒い日が続きますので、体調管理に留意され、暖房機器等の火の元にも十分に気をつけてください。

■議会では、12月定例会より、一般質問の質問回数と時間制（一問20分）を試行的に実施しました。今後にも答弁側の理解を得ながら、活発な議会になるよう調査、研究をしていきます。

議会だより編集特別委員会
 委員 相澤 巧